

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	アートでつながる！まちづくり人材育成プロジェクト		
事業主体 (連絡先)	諏訪市美術館 0266-52-1217		
事業区分	教育、文化の振興に関する事業		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	2,761,113 円	(うち支援金：)	1590,000 円)

事業内容

平成 28 年から募集を行っている諏訪市美術館ボランティアスタッフも 10 人前後の登録数かつ活動実績も少ない。ボランティアスタッフを増やしながらかつ地域と美術館をつなげることができる人材への育成、企画展・学校連携展を通して様々なシーンで自主的に動ける知識とスキルと習得し、さらなる住民の自発的な学びやまちづくりへの参画を促進する。

- 企画展「真道茂一魂の軌跡とその先」
開催期間：7月27日(土)～9月23日(月)
- 学校連携展「諏訪清陵高校+松本春崇
一ひも縄の精霊とつなぐもの」
開催期間：12月21日(土)～2月24日(月)



【 ファシリテーター研修 】

【目標・ねらい】

事業効果

- ①ボランティアの増加・育成
当初9人(R1年2月現在)だったボランティア数は18人(R2年3月現在)へ登録数が増えた。今回募集を行ったことで広く美術館へ興味を持っていただくことができ、制作する人/鑑賞する人というだけではなく、美術の素晴らしさを広めるような人、諏訪市美術館と訪れる人との間に立つような人材の育成ができた。
- ②地域と美術館をつなげる
ボランティアの加入によりファシリテーターが増加し、市民が気軽に美術へ触れていただける機会を多くつくることのできた。また企画展・学校連携展では積極的に展覧会作りに協力してもらう中で美術館の役割や活動について知ってもらうことのできた。

- ①ボランティアの増加・育成
- ②地域と美術館をつなげる

※自己評価 【 B 】

【理由】
ボランティアの数が約2倍に増えた。さらに、展覧会準備や各イベントに率先して参加していただき美術館と地域をつなげる橋渡し役の人材を育成することができた。引き続き地域への美術的アプローチをし、諏訪市の文化向上に向けボランティアとして飛躍を目指す。

今後の取り組み

既登録ボランティアから新規ボランティアに教えながら、また互いに学びながらファシリテーターの経験や展覧会準備の知識など身に着けていただくことができた。美術館という場所で芸術を通して何が見えるか、何を感じるかを学び取っていただけるような機会をボランティアと一緒に考案していきたい。また、諏訪市美術館を知らない、行ったことが無いという声を耳にすることが未だに多いが、ボランティアを募集する中で30歳代～70歳代までの登録があり、美術に興味関心を抱いている年齢層を知ることができた。今後のターゲット層の参考としたい。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある